

ドライバーの皆様へ

(岡 山) S工業㈱ E. S

「ドン！」鈍い音とともに、後部座席のチャイルドシートからは、「えーん」娘の鳴き声。何が起きたか理解するまでに数秒かかった。目の前には、軽ワゴンが横転しガソリンが漏れ始めている。

「やばい！ 人殺ししてしまった」

目の前が真っ暗になった。あわてて運転席に駆け寄ると、必死でドライバーは這い出てきてくれた。

「あー、よかった。本当によかった。」ほっとするとともに、涙があふれてきた。

数十年前、私は高校卒業と共に運転免許証を取得した。

自動車学校の試験も本試験もすべて一発合格した私は、何の根拠もない運転の自信を持ってしまった。

「私は、運転がうまいのだ」という本当に最悪な自信だ。

その後数年の間に、自損事故を繰り返してもその、変な自信は消えなかった。

今考えるとそっとするような、無謀運転を繰り返していたと思う。

その、変な自信が消え、やっと自分の運転が、下手なのだと気付いたのが、恥ずかしながら、あの事故だったのだ。

事故は、不幸中の幸いで、相手のドライバーの方もたいした怪我もなく、保険で何とか話はまとまった。

しかし、私の心の傷は、本当に深かった。

たいした左右確認もせず、どうして飛び出してしまったのだろう。

今までの私の運転はなんだったのだろう。

後部座席に乗せていた娘は、どんなに怖かっただろう。反省しても反省しても足りなかった。

若い時のあの、なんでも自分が一番のような自信。どうして持ってしまうのだろう。

その後は、また運転が出来るようになるまで時間がかかったが、初心に戻り、確認に確認して運転するようになった。

しかし、どんなに慎重に運転しても、私は運転が下手らしい。

いつも、ドキッとする場面に出会う。ただ、昔のように無謀な運転をせず、自分は下手なことから注意して運転しよう。

と心に決めて運転していると、自信過剰な運転を繰り返していた時とは、すべてにおいて全然違うのだ。

危ないと思うと、すぐに止まることができる。するとベテランドライバーの方がよけてくれる。無理して割り込まず、止まっていると、プロのドライバーの方が入れてくれる。

本当に、私はプロのドライバーやベテランドライバーに助けられて運転していると思う。

自分が謙虚な気持ちで運転していると、相手にも気持ちが通じ、自分の心にも余裕が持てるのだと思う。

後部座席で泣いていた娘も、高校三年生になり、今年運転免許を取得することになった。

きっと、私と同じで「自分が一番」という若者ならではの、変な自信を持つことでしょう。

それがとんでもない間違いで、恐ろしい勘違いだという事を、しっかり伝えていこうと思う。

ただ、若いころはどうしようもないドライバーもいれば、自分の運転技術が未熟だということに気づいておらず、無謀運転を繰り返すドライバーもいる。

どうか、広い心で接して欲しい。後ろからあおられたり、幅寄せされると、気が動転してしまい、ますます運転が下手になってしまうのだ。

また、変にイライラしてしまうこともある。

出来る限り避けて、道を譲ろうとするのだがそれすら、出来ないこともあるのだ。